

ファシリテーションゲーム

【はじめに】

グループ内でファシリテーター役（議事進行役）を
1人、決めてください。

（ほかの人も、何か役があります）

ファシリテーションゲーム

本会議の趣旨は、『職場の慰安旅行の行き先をどうするか』を決めることです。
目的地は、「景色の綺麗な海が見えるホテル（ホテルSAKAI）」か
「山間の空気のおいしい旅館（匠屋旅館）」のどちらかまで、決まったことになっています。

5人グループ内で、1人がファシリテーター（議事進行役）。他の人は自分の意見を持っています。人によっては、それぞれ手元の用紙にしたがって、山がいいか、海がいいかの役割設定がされています。

全員で意見を出し合って、どちらの目的地にするかを協議してください。

ファシリテーションゲーム

(30～40分)

グループの合意形成はできましたか？
このゲームでは、以下の役割分担がされていました。

ファシリテーター：旅の目的地に「広い温泉」と「社会見学」が含まれる目的地になるように誘導する役目

匠屋旅館推進役：匠屋旅館が選ばれたら「勝ち」

ホテルSAKAI推進役：ホテルSAKAIが選ばれたら「勝ち」

どちらでもいい派（ヒントあり）：3回話が振られるまでは発言をしない役割（ファシリテーターが話をふる必要がある）

どちらでもいい派：役割はないが、会議の参加者としてテーブルのバランスがどちらに偏っているかを示すバロメーター

対立する二人の「自分の候補地が選ばれたら勝ち」という観点でゲーム設定されているところがゲームを難しくしており、ファシリテーターはいかにその対立軸を「自分たちの旅行の目的はなにか」という本質論に向けさせられるかを訓練した。

